

## 厚生労働大臣との会談要旨

### 【大臣発言要旨】

- 感染症から国民の生命と健康を守るという使命を負った国立感染症研究所が、国民の期待に応える業務を行っていくためにも、村山庁舎のBSL-4施設は必要不可欠な施設である。
- これまで5回にわたって協議を行ってきた施設運営連絡協議会の議論の中から、①災害時等の安全対策や、②BSL-4施設で実施する業務、③将来的な立地場所の検討、④継続的・積極的な情報開示など、施設運営で配慮すべき課題が集約され、今後、BSL-4施設を安全・安心に運用するために必要な対策も明らかになってきた。
- 国立感染症研究所村山庁舎のBSL-4施設の今後の運営に当たっての課題や要望事項を伺った上で、最終的な判断をしたいと思うので、忌憚のない御意見を願います。

### 【市長発言要旨】

- 過日開催された施設運営連絡協議会において、国立感染症研究所村山庁舎の施設運営について、課題の整理がなされたとのことから、その課題や施設周辺自治会からの要望事項等を踏まえて市としての要望事項を取りまとめた。
- 1点目は、施設の安全対策、防災対策についてである。  
施設の運営は、市民の安全・安心の確保を最優先に対応していただきたい。  
さらに、国として、施設周辺の安全対策や事故・災害対策及び避難対応について、市とも連携しつつ、強力に進めていただきたい。
- 2点目は、BSL-4施設で実施する業務についてである。  
施設が稼働した場合における実施業務は、国内で感染者が確認された際に感染者の生命を守るために必要な診断や治療等に関する業務に特化していただきたい。  
また、今後の施設運用については、市民への情報提供や施設の安全対策を積極的に行っていただいた上で、市民の理解を得つつ国が責任を持って進めていただきたい。

- 3点目は、情報開示・コミュニケーションについてである。

施設運営の透明性を確保するため、施設運営連絡協議会を継続して開催し、施設の使用状況を報告するとともに、施設見学会や説明会も継続的に実施し、積極的な情報開示や、地域とのコミュニケーションの強化に努めていただきたい。

さらに、施設の運営状況をチェックするため、感染症対策に関する有識者による体制の確保も検討いただきたい。

- 4点目は、施設の移転についてである。

施設が市街地にあることに対する不安やワクチン開発等の研究が可能な最新の設備を備えた施設の新設が必要であるとする日本学術会議の提言を踏まえ、当市以外の適地へのBSL-4施設の移転について検討し、結論を得ていただきたい。

#### 【市長からの要望を受けた大臣発言要旨】

- 1点目の「施設の安全対策、防災対策」についてである。国立感染症研究所村山庁舎の施設運営は、市民の安全・安心の確保を最優先に対応することが基本と考えている。また、災害や事故に備えるため、国として、市や警察等の関係機関とも連携し、周辺住民に対する円滑な連絡や状況説明について、責任を持って対応する体制を構築する。

このように、国として市との連携も踏まえ、施設及び施設周辺の安全対策や事故・災害対策、避難対応の強化を進めていく。

- 2点目の「BSL-4施設で実施する業務」についてである。国立感染症研究所は公衆衛生の目的のために設置された機関なので、当然、感染者の生命を守るために必要な業務に特化している。また、現時点で、日本国内にはエボラ・ウイルス等の一種病原体は存在しないので、現実的には、当面検査以外の業務を行う状況にはない。

さらに、地域住民の懸念を払拭するよう、コミュニケーションを積極的に行いながらBSL-4施設を使用することに、しっかり留意していきたい。

- 3点目の「情報開示・コミュニケーション」についてである。国立感染症研究所村山庁舎の施設運営の透明性を確保するため、国立感染研村山庁舎施設運営連絡協議会を継続して開催し、施設の使用状況を報告するとともに、施設見学会や説明会も継続的に実施し、積極的な情報開示や地域とのコミュニケーションを推進する。

既に、国立感染症研究所の安全対策については、内部の委員会に外部有識者にも参加してもらっているが、こうした外部有識者を活用したチェック体制を引き続き確保していく。

- 4点目の「将来的な施設の移転」についてである。施設の老朽化や、平成26年の日本学術会議の提言及び平成20年に総合科学技術会議の報告書等も参考にし、武蔵村山市以外の適地におけるBSL-4施設の確保について検討し、結論を得たい。

**【大臣発言を受けた市長発言要旨】**

- 確認事項に沿って施設運営が行われること、特に施設で実施する業務は、感染者の生命を守るために必要な診断や治療等に関する業務に特化することや、国内にエボラ・ウイルス等の病原体がないため、現実的には、当面検査以外の業務を行う状況にないことを前提として、BSL-4施設の稼働は、やむを得ないものと判断する。

**【市長発言を受けた大臣発言要旨】**

- 国立感染症研究所村山庁舎が、武蔵村山市民にとっても、日本にとっても、誇りになるよう、努めていくので、引き続き、御協力と御理解をお願いします。